

# 木場音頭

詞曲  
作  
唄  
振り付け

山本 榮光 栄光  
岸泰 二央 二央  
岸泰 泰央 央信  
北 方 政 信

はやし  
三味線  
尺八  
太鼓

美里 美里 美里  
照重 照重 照重  
榎弘 榎弘 榎弘  
子三 子三 子三  
男則 男則 男則  
杖村 杖村 杖村  
重吉 重吉 重吉  
宮前 宮前 宮前  
竹林 竹林 竹林  
北野 北野 北野

- 一 大杉郷の 木遣り道  
ここは馬場とこ 難所越え  
一口生水の ちから水  
※ゴザツセ ヨイトコ  
ホンニ ヨイトコ木場音頭
- 二 安宅、小松へ 行き来する  
木材積んだ 船だまり  
繁盛、木場の 名が残る  
※くり返し
- 三 星の城址に 池田城  
攻めくるものを 打ち負かす  
昔一揆のいくさ跡  
※くり返し
- 四 漁師舟出す あいの風  
シヤデやタツビに 投網うち  
松根燃やして なます獲り  
※くり返し
- 五 春はあまさき 夏は鱈  
鮎のあらいに 鯉のつゆ  
木場潟ザツコの かくし味  
※くり返し
- 六 泥汲みや男の 大仕事  
かすり姿の 田植え衆  
休ん業粟津へ 骨休み  
※くり返し
- 七 夏はイ草の 扇干し  
ゴザ織る嫁の 手は匠  
小松表は 村自慢  
※くり返し
- 八 バイタ、ホ工出す 里山に  
松茸、しば茸 味しめじ  
わらびや、ぜんまい 山の幸  
※くり返し
- 九 茅葺屋根に つるべ井戸  
煮鍋かこんで いろり端  
近所どなりの もらい風呂  
※くり返し
- 十 おわら、おけさの 声響く  
老いも若きも 浴衣着て  
村中輪になり 盆踊り  
※くり返し
- 十一 天空高く 応援歌  
粟津や符津に 伍して勝つ  
お粟津村の 運動会  
※くり返し
- 十二 旗竿起こしに 宮掃除  
豊年満作 秋祭り  
笛や太鼓に 獅子が舞う  
※くり返し
- 十三 露天賑わう ほんごさん  
道説く法話に 救われる  
お参り衆の なむあみだ  
※くり返し
- 十四 箆筒、長持ち 竿通し  
めでためてたの 嫁道中  
村中よばれの 祝い酒  
※くり返し
- 十五 天まで焦がす 左義長に  
子供ら嫁取り 家回り  
嫁祝いましょうの 振る舞い銭  
※くり返し
- 十六 男四十の 厄払い  
お宮に奉納 大鳥居  
餅まく初老の 心意気  
※くり返し
- 十七 伝説湯の谷 湧き出でて  
お湯滑らかに 雪の肌  
達者で笑顔の お湯の里  
※くり返し
- 十八 白山うつして ひかる木場潟  
学校もりたて 村づくり  
気風育てし 木場の水郷  
※くり返し